機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0150232	2.8.9.	2		・搬出日	標準オプション機能	
0150233	2.8.9.	2		処分理由の文面は編集ができること。	標準オプション機能	
0150344	2.8.10.	1	配当計算書作成・管理	配当計算書の情報を管理（設定・保持・修正）できること。 ＜管理項目　例＞ 市区町村コード、行政区、処分コード、財産情報管理番号、宛名番号、債権現在額、他機関の債権額、残余金、配当時の延滞金額、延滞金計算年月日、受入額、滞納処分費、残余金交付、交付期日、交付時刻、交付場所、備考、更新者ＩＤ、更新年月日、更新時刻	実装必須機能	令和８年４月１日
0150235	2.8.10.	1		差押範囲をもとに、配当計算書を作成できること。 また、配当処分のもととなる滞納処分の内容として、換価財産等、第三債務者の項目を自動で入力し、その内容を編集できること。 一つの滞納処分に対し複数の配当計算書の出力ができること。 差押財産の一部換価（預金の一部換価等）についても、配当計算書を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150236	2.8.10.	1		債権現在額、他機関の債権額、残余金の自動計算機能を自動計算できること。また、計算結果については修正できること。 配当時の延滞金額について、延滞金計算年月日を任意に設定できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150237	2.8.10.	1		換価代金等の交付期日は、配当計算書を発した日から７日を経過した日が自動で設定され、かつ任意で修正できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150238	2.8.10.	1		差押財産の一部換価（預金の一部換価等）についても、配当計算書を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150239	2.8.11.			配当計算書作成上、頻度が高い債権者、第三債務者（所在・名称）を、随時選択できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150345	2.8.12.	1		充当通知明細書の情報を管理（設定・保持・修正）できること。 ＜管理項目　例＞ 市区町村コード、行政区、充当管理番号、宛名番号、充当入力年月日、充当決議年月日、充当年月日（予定日）、通知年月日、充当理由、処分備考、更新者ＩＤ、更新年月日、更新時刻	実装必須機能	令和８年４月１日
0150241	2.8.12.			充当期別分の納付書を出力できること。充当期別分の納付書は、時効の更新が行われない充当用納付書であること。 充当分として収納管理システムで区別して消込ができるよう、消込用に充当期別分の充当用納付書出力、消込データの作成等ができること。 なお、消込データの作成の場合は、消込データの作成後に修正、削除ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150242	2.8.12.			差押財産の一部換価（預金の一部換価等）についても、充当通知書を出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150243	2.8.12.			充当の際は、差押期別について滞納処分費、本税及び延滞金等の順番に自動で充当されること。充当期別、充当額（本税、延滞金）、充当後の残額は、手動で修正できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150244	2.8.12.			任意の延滞金計算日を指定できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150245	2.8.12.			充当後の残預金について、データを保持できること。	標準オプション機能	
0150246	2.8.12.			充当期別、充当額（督促手数料）、充当後の残額は、手動で修正できること。	標準オプション機能	
0150247	2.8.13.			債権現在額申立情報の管理（設定・保持・修正）ができること。 また、債権現在額申立てのもととなる滞納処分の内容を自動で入力し、その内容を編集できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150248	2.8.14.			繰上徴収情報の管理（設定・保持・修正）ができること。 変更後の納期限は時間の管理ができること。 法定納期限以前の繰上徴収により、法定納期限等が変更されること。 ＜繰上徴収情報＞ ・起案年月日 ・決議年月日 ・繰上納期限 ・繰上納期限時刻 ・繰上徴収理由 ・取消起案年月日 ・取り消し年月日 ・繰上徴収取消理由（更正／賦課取消／その他） 等	実装必須機能	令和８年４月１日